

No. 2 2 2 1

忘年山行 大菩薩・丸川峠

実施日 平成 17 年 12 月 3～4 日(土～日)
天候 晴・曇
リーダー 馬場 清士
参加者 横山玲子、若村貴世子、斎恵美子、吉村宏子、友近洋子、若村勝昭、佐藤金治、一柳昭、岩井康子、小池述史、涌井良明、吉田勝教、大村巖、鈴木政三
計 15 名

コースタイム 1 日目 JR 高尾駅(8:43)塩山駅(9:56～10:21 バス)大菩薩登山口(10:45～10:50)丸川峠分岐(11:10～11:15)丸川峠(2:15)泊
2 日目 丸川峠(7:00)大菩薩嶺(8:45～8:50)雷岩(9:10)ふくちゃん荘(9:55～10:05)上日川峠(10:25～10:30)丸川峠分岐(11:50)大菩薩登山口(12:05)大菩薩の湯(12:30～14:55 バス)塩山駅(15:20)

費用 交通費 4,300 円
宿泊費 4,700 円(素泊まり)

塩山から大菩薩登山口までバスに乗る、こぶし会 15 名のほかに 2 名、途中で地元の方が 1 名乗車しただけでほぼ貸切状態であり、何ととっても嬉しいのはバス代が 100 円だ。

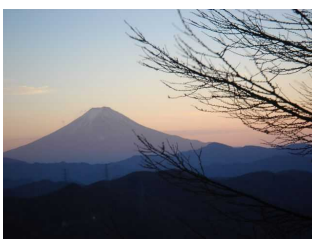
バスを降り身支度を整えて出発、武田家ゆかりの雲峰寺を左に見て、暫は

舗装された道を行く。丸川峠分岐から登山道に入る、葉もほぼ終わり冬

枯れの林間をみそぎ沢沿いに行き、尾根への取り付き手前で昼食を摂った。

昼食後いよいよ登りにかかり、次第に高度を上げてゆくと冬枯れの林間越しに薄っすらと霞の掛かった富士山が覗いている。

熊笹の平坦な道を行くと丸川峠はもう近い、2 時 15 分に丸川荘に着いた。



夕方、横山鍋奉行と数名の鍋当番を残して、夕日と夕日に霞む富士山を見に行った。御坂山塊と三ツ峠越しに見る夕映えの富士山は、素晴らしい眺めであった。

薪ストーブとランプの山小屋丸川荘は貸切、昨年に引き続き 2 回目の鍋を囲んでの忘年会が始まった。女性軍が事前に下ごしらえして持ち込んだ食材で鍋を作り、皆さんが持ち寄った飲み物や食べ物をいただきながら、楽しいひと時を過ごした。今年は、涌井さんが 50 曲もの山の歌を挿絵入りの歌集に纏め、一人一人にくださったり、メロディーを MD に落として持ってきてくれました。おかげで歌唱指導の横山会長はじめ大いに盛り上がり楽しい忘年会となりました。リーダーとしては涌井さんに感謝々々です。



2 日目の朝は曇りで雪雲の空、午前中もってくれればと思ひながら 7 時に出発した。ここ数日丸川峠付近に居ついていた大型犬が我々に付いてきた。

(おとなしくて人に慣れているので飼犬だったのだう、可愛そうに・・・)

8 時 45 分大菩薩嶺に着いた、ここは寒いだけで見晴らしはない。小休止の後雷岩に向かうが、雪雲の為期待していた富士山はその顔を見せてはくれなかった。この分では峠の富士山も期待出来ず、空模様も気掛かりで計画を変更し唐松尾根をふくちゃん荘へ下りた。まだわんちゃんは付いてくる。



上日川峠から芦倉沢沿いに落葉をカサカサと踏み鳴らしながら、大菩薩登山口に下り、大菩薩の湯でゆっくり反省会をしていたら案の定雪になり、滑り込みセーフでした。結局わんちゃんは大菩薩の湯まで付いてきた、今頃どこに・・・

さて、来年の忘年会はどこで？ なに！ 来年のことを言うと鬼が笑うって、それもそうだ。まだまだこの先 1 年山行やらなきやね。



さて、来年の忘年会はどこで？ なに！ 来年のことを言うと鬼が笑うって、それもそうだ。まだまだこの先 1 年山行やらなきやね。



(記・馬場清士)